

「みんなで進める子どもの食育応援事業」(3,975千円)

【戦略キーワード】
「子ども」総合支援

【現状と課題】

保育所、学校等では、食育に関する指導が行われているが…

現状① 子どもの肥満は、全国一

本県の児童・生徒の肥満傾向児出現率は、多くの年齢で全国1位。

現状② 生活習慣病による高死亡率

本県は、3大生活習慣病による死亡率が、男性ですべて全国第1位。

現状③ 知られていない食文化

優れた農林水産物や郷土料理が、県民に十分知られていない。

現状④ 活用不十分な食育指導者

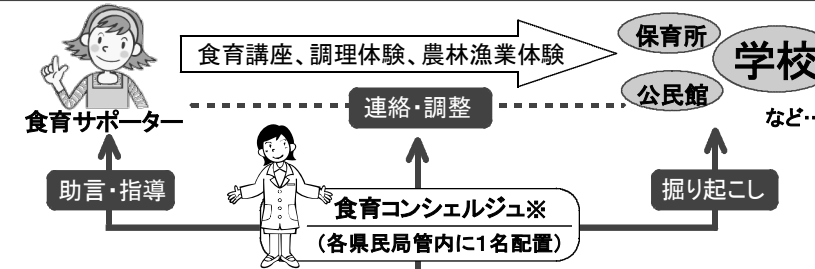
県事業で養成した食育指導者の活用が十分にされていない。

- 子どもの頃から、正しい食習慣を身に付け、良質な食文化に触れさせる食育活動が必要。
- 地域の人的資源としての「食育指導者」を活用する仕組みづくりが必要。

ターゲットは「子ども」と「保護者」

【事業内容】

1 地域に根ざした食育活動の実施 (1,975千円)



「事務局」
地域県民局
地域食育ネットワーク協議会

委託地域の食育団体

- 「食育コンシェルジュ」の設置
※人件費、活動費は「ふるさと雇用再生事業」で別途対応
- 食育サポーター活用型「食育活動」の展開
食材費、会場使用料など、活動経費の一部助成
- 食育サポーター活動事例発表会の実施

- 「地域食育ネットワーク協議会」の開催等による地域の食育の進行管理
- 「子どもの食育」を普及啓発するイベント等の開催



2 県全体での食育活動の実施 (2,000千円)

○全県的な食育活動の委託

全県的に「子どもの食育」を進める団体に対し、食育活動の実施を委託

- 【例】
- ・県内各地で食育関連イベントを開催
 - ・スーパー等の店内で、食育活動を継続して実施
 - ・農林漁業体験をメニュー化して全県的に実施
 - ・2世代以上が参加する郷土料理教室を県内各地で開催



【事業成果】

①家庭における子どもの食習慣が改善

正しい食習慣が身に付き、生活習慣病予防にもつながる

②地域における食育支援体制が形成

サポーターの継続的な活動により、地域に根ざした食育が推進

③地産地消と、本県の豊かな食文化への理解が促進

県産農林水産物の生産・利用拡大と食に対する子どもの理解促進

- 子どもの肥満が減少
- 生活習慣病による死亡率低下
- 地域ぐるみでの食育が推進
- “生業”としての農林水産業の発展

